

大坪製菓 株式会社



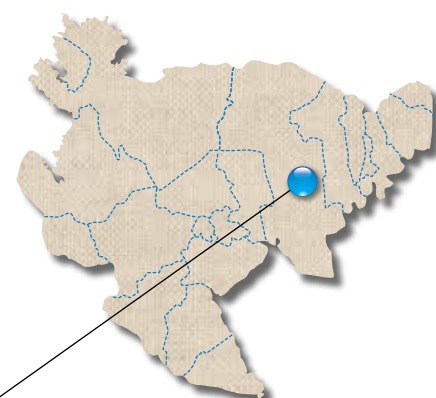
テーマ

革新的サービス

試作・設備

高付加価値の「丸ぼうろ」の新商品開発に伴う プリント機械による新たな生産方式の 導入及びブランドの確立

量産薄利の商品開発から付加価値の高い商品開発への転換が必要との認識で、新たな新商品の開発と新市場への展開が急務となっている。そこで、「丸ぼうろ」にプリントした商品開発が可能となれば、売上高や付加価値額を向上させ、新たな市場への進出が可能となるため、最新の機械を導入した。



佐賀市木原3丁目16番15号

本事業への取り組みの経緯

他社との競合、販売ルートの限定と低利益、マーケットの減少、原材料の高騰など取り巻く環境は厳しさを増している中、このような課題を解決するため新商品の開発による他社との差別化を行い、競争力を強化する目的で、現在の包装ラインとは別のプリントラインを導入。タイミングとしては3年前、同機械が量産タイプ(通常タイプは5～6年前)になったことから導入しようと検討。本事業に取り組む前に、佐賀県の経営革新を申請していたほか、佐賀市の補助金(市場開拓分野)を申請するなど制度を積極的に活用していた中で「ものづくり補助金」を知り、申請した経緯がある。



実施内容

まずは、プリント機械と包装ラインの検討・発注を経て、プリント機械と包装ラインの設置及び検証作業を実施。その後、フードプリンターによる「丸ほうろ」へのプリントライン導入、原材料・小麦・卵すべて佐賀県産の「丸ほうろ」を開発、佐賀県産100%の「丸ほうろ」にプリントすることで他社製品との差別化・ブランド差別化を確立できた。「丸ほうろ」へPCでデザインした写真や画像などをプリントして試作品を完成、試作品の社内評価と製品化への課題解決を行った。平成28年1月に機械導入、28年5月末には試作品完了、6月試作品報告を経て、11月には佐賀インターナショナルバルーンフェスタにて採用され、バルーンをプリントした「丸ほうろ」を販売するなど実績を得た。

取組成果・波及効果

「丸ほうろ」の製品自体に文字や絵柄をプリントする機械を導入。導入機械が最新鋭の機械の為、操作方法もタッチパネルや、パソコンで操作でき比較的各担当者もスムーズに機械に慣れることができた。「丸ほうろ」にプリントをする事も、最初は、絵柄や文字の太さにより絵柄が鮮明にプリントできずに戸惑ったが、機械メーカーの指導と当社社員の試行錯誤により改良する事で、製品として提供できるオリジナル性を高めた試作品が完成。佐賀県産の小麦を100%・佐賀県産の卵100%使用しての「丸ほうろ」開発も原材料の確保の目途も立ち、試作品も完成し、佐賀県産100%の製品づくりが可能となった。波及効果は現在のところ当初の目論見通りとはいかないが、売上がオンできれば利益率改善に繋がる事が可能となる。

今後の展望・活動予定

今後の展望としてはイベントプロデュース企画市場への販路開拓、佐賀県内観光土産市場への販路開拓、飲食市場へのオリジナル商品提供と高齢者向け市場への販路拡大開拓を見込んでいます。海外向け市場(東南アジア)の開発にも参加しているが、リピートになり難く、まだ時間がかかる見通しです。人材採用が容易でない背景もあり、マーケット拡大よりも自社の利益構造を変えるため、強化していく1つの方法として長期的に取り組んでいきます。

企業名	大坪製菓 株式会社
代表者	大坪 恵介
住所等	〒840-0015 佐賀市木原3丁目16番15号
連絡先	TEL 0952-23-4548 FAX 0952-23-4553 E-mail:maruotsu.ee@po2.bunbun.ne.jp
HP	http://otsuboseika.com/
資本金	1,000万円
設立年月	昭和49年12月
従業員	24人
業種	菓子製造販売